セサミふれんず　５領域２０項目を生かしたサービス提供方針

ア）健康・生活	支援目標例	5領域２０項目
健康管理、 日常生活動作、 歩行・軽スポーツ、 音楽活動、更衣支援、 排せつ、水分補給等	手洗い、うがい、歯磨きなどを適切な時間に適切な方法で行なうことができる。	食事
	排泄	排泄（トイレ）
	リズミカルな生活習慣をつけるため、予定を理解したり、予定に従って生活することができる。	入浴
	音楽療法や音楽ビデオなどを活用し、身体を動かす、止まるなどの日常生活動作にメリハリをつける。	衣服の着脱
	着替えの時にボタンの外し方を学ぶ。制服のたたみ方を学ぶ。	
	水分補給に対する意識を高め、進んで飲む習慣を養成して、熱中症や便秘の予防を行なう。	
イ）運動・感覚	支援目標例	
感覚統合、 運動療育、 集団生活適応訓練、 会話、 手話、 点字、 パソコン操作等	暑さ寒さ、痛みやかゆみ等に対する意識を高め、体温調節や健康の維持を行なう。	感覚器官（聞こえ）
	ある運動を一定時間、あるいは一定回数行なうことで体力の向上を図る。	感覚器官（口腔う機能）
	友だちと共通の遊びや趣味を見つけて共に遊ぶことに対する意識を高める。	姿勢保持（座る）
	ある作業を友だちや職員と協力して行なうことへの意識を高める。	運動の基本 （ケンケン・両足飛び）
	排泄や室内の移動の際、適切な身体の動きに対する意識を高める。	運動の基本 （歩行移動）
	ご利用者本人の過去の記憶やこれからの予定について意識しながら会話を楽しむことができる。	
	好きな画像を印刷する際、パソコン操作を自ら行なったり、画像を選んだりすることができる。	
ウ）認知・行動	支援目標例	
自己認知、 空間認知、 言行一致、 行動の正常化、 自己肯定感の高揚、 認知行動療法、	自分の心身の状態に対する意識を高め、他者に伝達する方法を学ぶことができる。	危険回避
	場に応じた行動や言動ができるように意識を高める。	注意力
	言葉や文字で表したことあるいは表現したことと行動が一致できるようにする。	見通し（予測理解）
	ご利用者が自ら周囲の状況判断を行ない、自分にとって必要な行動がとれる力を養成する。	見通し（急な変化）
	ご利用者が自己肯定感を感じ取ることによって、他者の存在に気づいたり他者への配慮について学ぶことができる。	言動
	自分の「難しいこと」「困ったこと」「苦手なこと」などを理解し、言語化できる。	
	ご利用者が自らの行動を振り返り、記憶に残したり、記憶の呼び出しをしたりすることができる。	
ABA（応用行動分析）、 TEACH（構造化） SST等	提示された手順の一部を理解し、行動や作業を行なうことができる。	
	活動表の一部を自分の好みに変更して、積極的に活動に参加できる。	
	提示された作業や工作の課題の手順を理解して、順序良く行なうことができる。	
	提示された「今日の予定」を見て確認することができる。	
	区切られた空間の中で安心して課題に取り組むことができる。	
	良い条件提示の中で楽しみながら、望ましい行動ができるよう仕向ける。	
エ）言語・コミュニケーション　支援目標例		
言葉の理解、 自己主張、 他者理解、 文字・絵文字の理解等	ご利用者が興味のあるものの名前を聞き取り、模倣して発することができる。	人対人
	嫌なこと、苦手なことに接したときに「やめてください」と伝えることができる。	意志の表出
	自他の区別をして、年下の友だちに配慮すr気持ちを養成する。	読み書き
	中学・高校生　コミュニケーション追加　言葉遣い　やり取り　集団適応力	
オ）人間関係・社会性　支援目標例		
場面の切り替え、 言語の発出、 場に応じたあいさつ、 自他の区別、 自己表現、 SST、 PECS、 共感的理解	同じ部屋で過ごすことができる。同じテーブルでおやつを食べることができる。	他者への興味関心
	活動や遊びに友達を誘って共に遊ぶことができる。	遊びや活動
	物や道具の貸し借りを行なうことができる。	（トラブル頻度）
	「ありがとう」ということができる。	集団への参加
	他者の言葉を真似して「最初の文字」を発声することができる。	（集団参加状況）
	時間帯や曜日の感覚を身につけ、その場に応じたあいさつや会話ができる。	
	持ち物や食べ物、おもちゃや道具、衣服など自他の区別がつく。	
	外出先や買い物の場面などで、場に応じた態度で活動することができる。	
	「絵カード」や「ジェスチャー」を使って、自分の行なおうとする行動を事前に伝えることができる。	
	相手の立場に立った行動や言動を行なうことができる。	
	友だちや他者の気持ちを理解しようとする態度や他者の気持ちに気づくことができる。	
カ）食育	支援目標例	
土を作る、 撒く、 植える、 育てる、 収穫する、 調理する、食べる、 味わう、 片付ける	道具の準備を行なうことができる。	
	畑の作業を嫌がらず、移動し参加できる。	
	シャベルを使って土いじりをして、土づくりに参加することができる。	
	肥料や種まき方を手本通りに行なうことができる。	
	肥料や種まき方に注意して行なうことができる。	
	水やりや除草など「おせわ」することがあり、それぞれの工程が植物にとって必要ことであることを知る。	
	植物の成長と自分の役割を理解し、味覚の養成を目的としながら、食育を通して豊かな人間形成を支援する	

	調理に伴う活動（洗う、皮をむく、切る、煮る、炒める、味付けする、取り分ける、食べる、片付けるなど）

などの一連の流れを理解して、植物の成長と自分の役割を理解し、味覚の養成を目的としながら、食育を通して豊かな人間形成を支援する